

2020年11月6日

各 位

会 社 名 ソーシャルワイヤー株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 矢 田 峰 之
(コード番号：3929 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 藤 原 直 美
(TEL. 03-5363-4872)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

【開催状況】

開催日時： 2020年11月6日（金） 15:30～16:30
開催方法： 対面による実開催
開催場所： 日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル 第3セミナールーム
東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル 3階
説明会資料： 2021年3月期2Q 決算説明資料

【添付資料】

1. 説明会において使用した資料

以上

ソーシャルワイヤー株式会社

2021年3月期2Q 決算説明資料

2020年11月5日

<本資料の取り扱いについて>

本資料に記載されている契約や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関するお問い合わせ

<https://www.socialwire.net/contact>

株主・投資家の皆様へのメッセージ

<https://www.socialwire.net/ir/messagelist>

売上高
売上成長率

過去最高
高水準維持

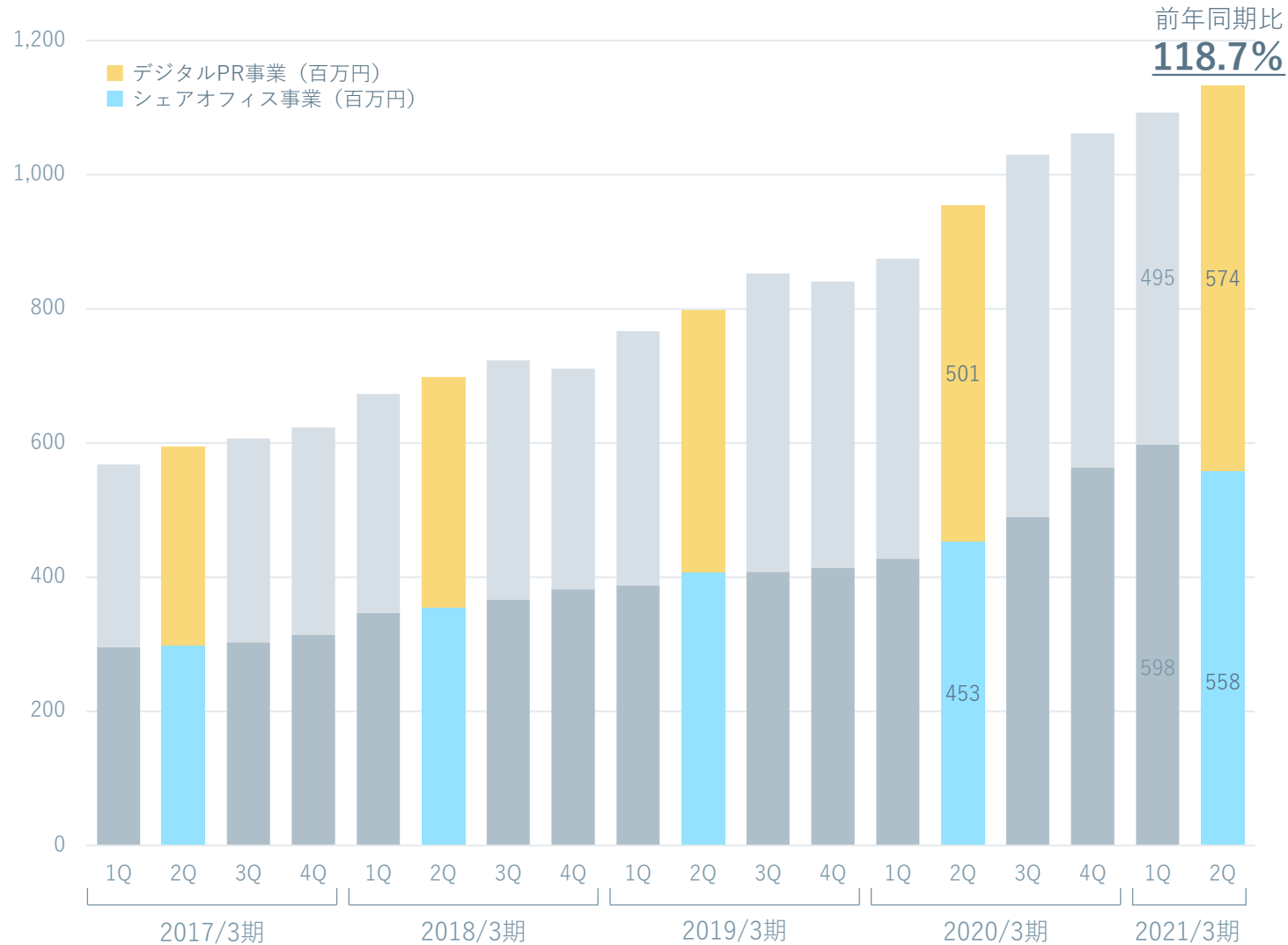


連結業績

全体	連結業績	売上高 2,228百万円 (前年同期比 121.6%) 営業利益 71百万円 (前年同期比 48.8%) 経常利益 73百万円 (前年同期比 56.2%) * CROSSCOOPデリリー、CROSSCOOPマニラ撤退より特別損失88百万円計上
セグメント	デジタルPR事業	売上高 1,070百万円 (前期比 112.7%) インフルエンサーPR案件数 270件 (前年同期比 112.0%) リリース配信数(従量/月額) 18,304件 (前年同期比 137.7%) リリース利用社数 8,862社 (前年同期比 123.0%) クリッピング案件数 6,702件 (前年同期比 100.5%)
	シェアオフィス事業	売上高 1,157百万円 (前期比 131.3%) 稼働席累計(国内) 10,894席 (前年同期比 134.9%) 稼働席累計(海外) 5,552席 (前年同期比 108.2%)

主要サービス	～2020年9月影響
デジタルPR事業	
	底打ちから拡大トレンドへ
インフルエンサーPR	➤ 『 大幅な減少 』 → 『 急回復 』 → 『 成長へ 』 イベント／観光案件縮小後、夏場より急激な回復
リリース配信	➤ 『 微減 』 → 『 急回復 』 → 『 成長へ 』 利用社数／配信数ともに急拡大
クリッピング	➤ 『 微減 』 → 『 停滞 』 紙案件軟調、デジタル案件で底堅く推移
シェアオフィス事業	
	半年程度遅れて影響が発現、先行きは追い風も動きは緩やか
シェアオフィス	➤ 『 軽微 』 → (半年程度経過) → 『 微減と停滞 』 国内の解約影響は軽微、一方、稼働率は横ばい～微減の傾向 海外は国により回復見込めず撤退判断（減損損失計上）
クラウド翻訳	➤ 『 軽微 』 → 『 微成長 』

連結売上高（四半期推移）



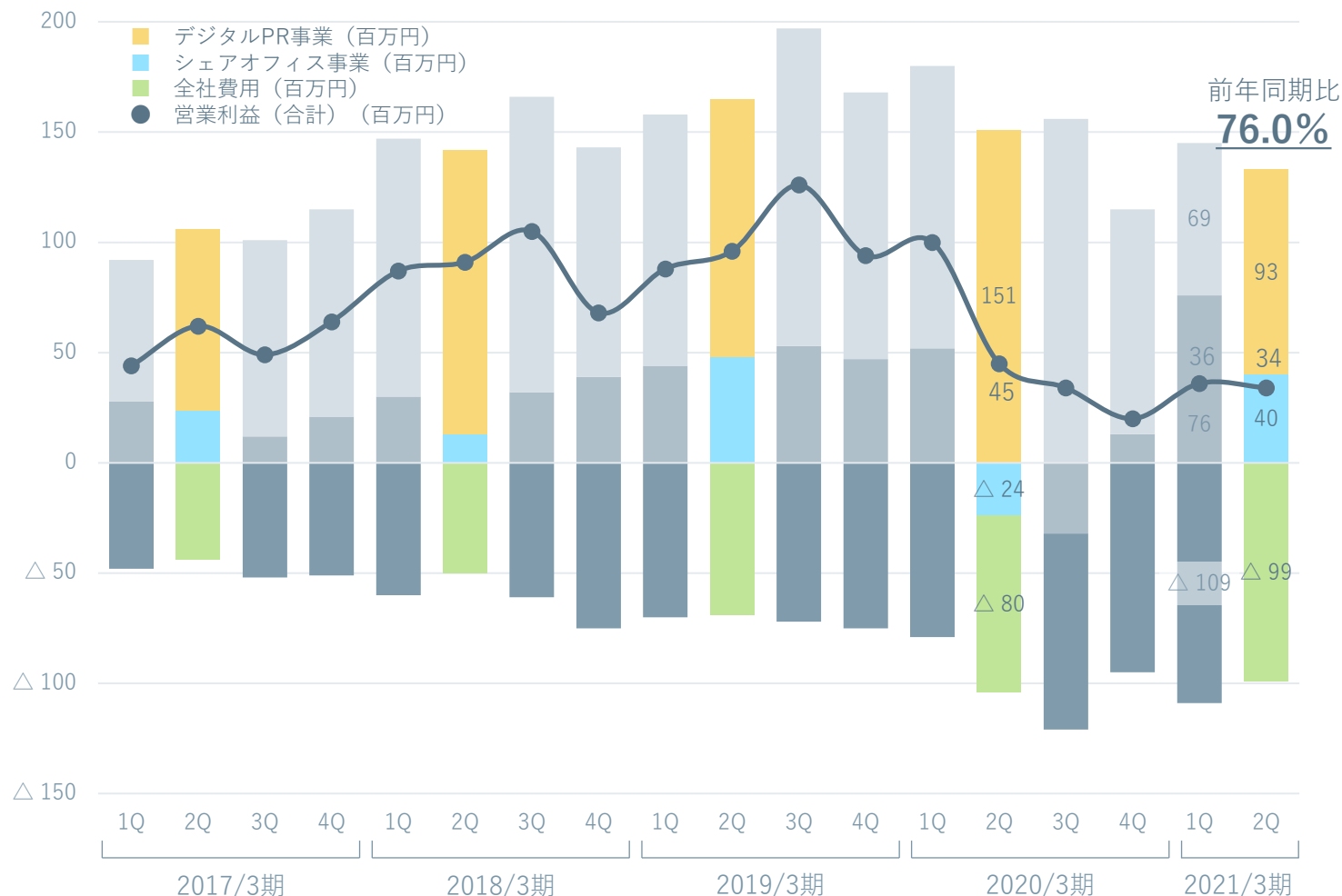
前年同期比 (YoY)

売上高過去最高、堅調な成長

前四半期対比 (QoQ)

デジタルPRは好調、一方でシェアオフィスは停滞

連結営業利益（四半期推移）



前年同期比 (YoY)

デジタルPRは販売人員の先行投資要因あり減益
シェアオフィスは新橋拠点の稼働率上昇により黒字化

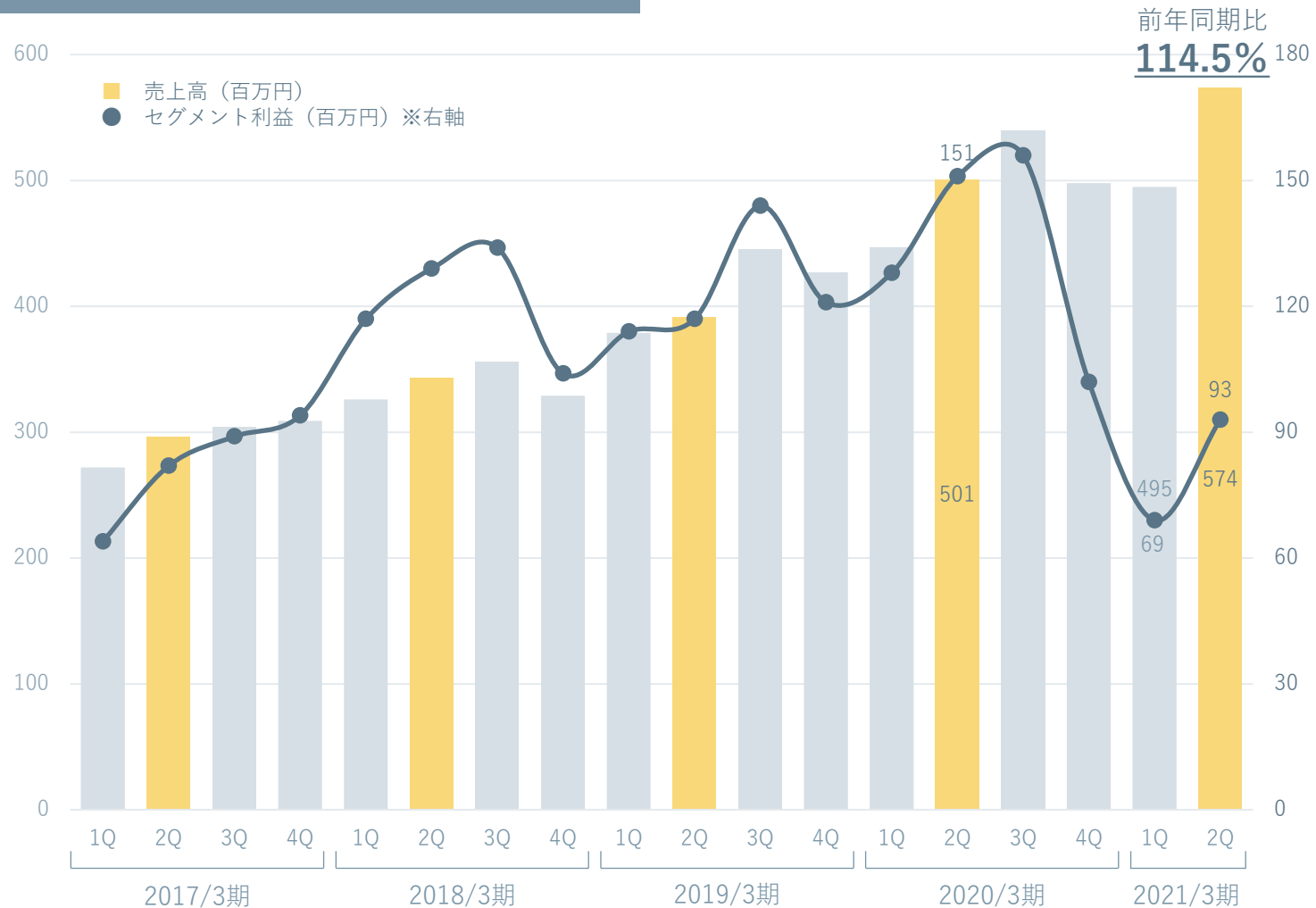
前四半期対比 (QoQ)

デジタルPRは増益傾向へシフト、シェアオフィス軟調

デジタルPR事業

デジタルPR事業（四半期推移）

売上高／セグメント利益



前年同期比（YoY）

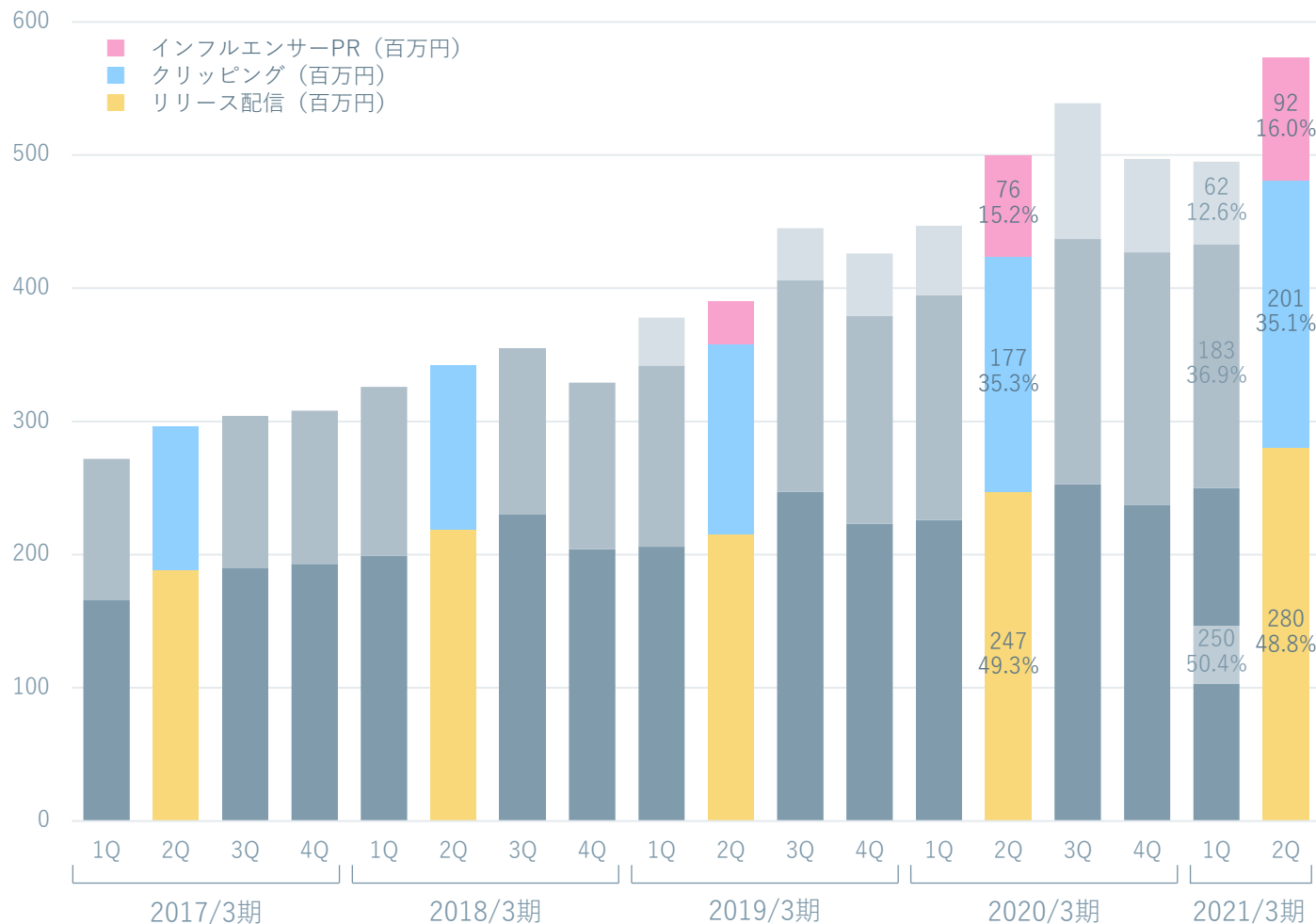
売上高は過去最高、販売人員の先行投資もありセグメント利益は減少

前四半期対比（QoQ）

コロナ禍から回復、売上高・セグメント利益とも増加傾向へ

デジタルPR事業（四半期推移）

売上高内訳



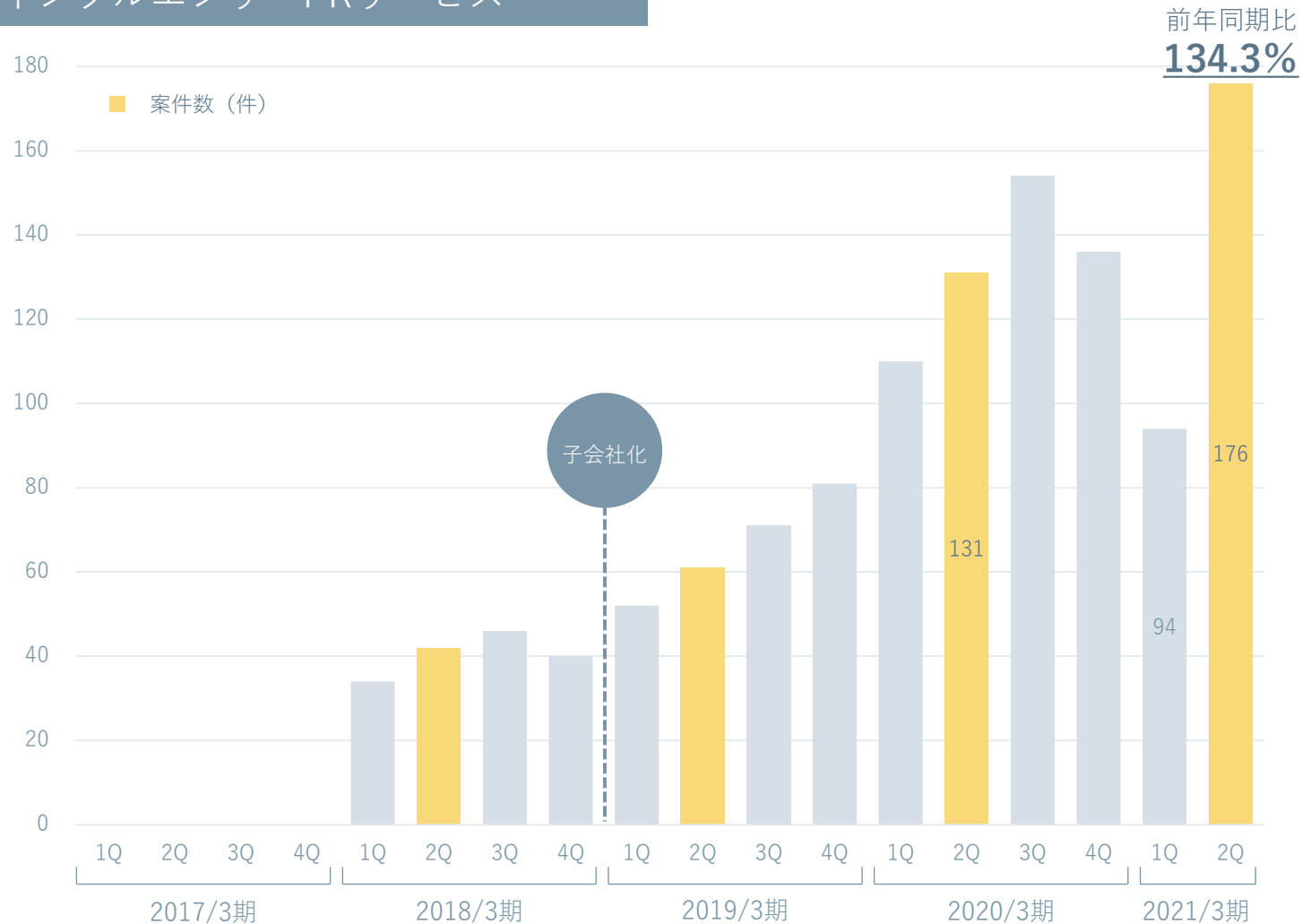
前年同期比 (YoY)

全サービスが成長、内訳は大きくは変わらず

前四半期対比 (QoQ)

コロナ禍からの回復によりインフルエンサーPRの売上比率増加

インフルエンサーPRサービス



前年同期比 (YoY)

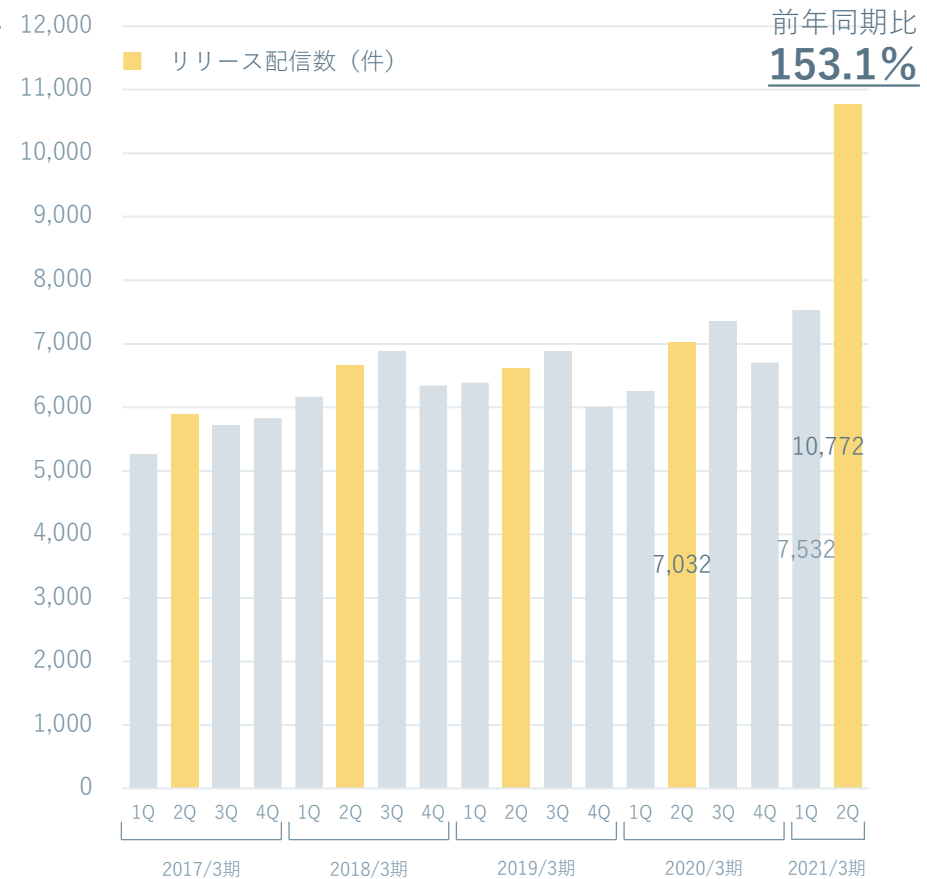
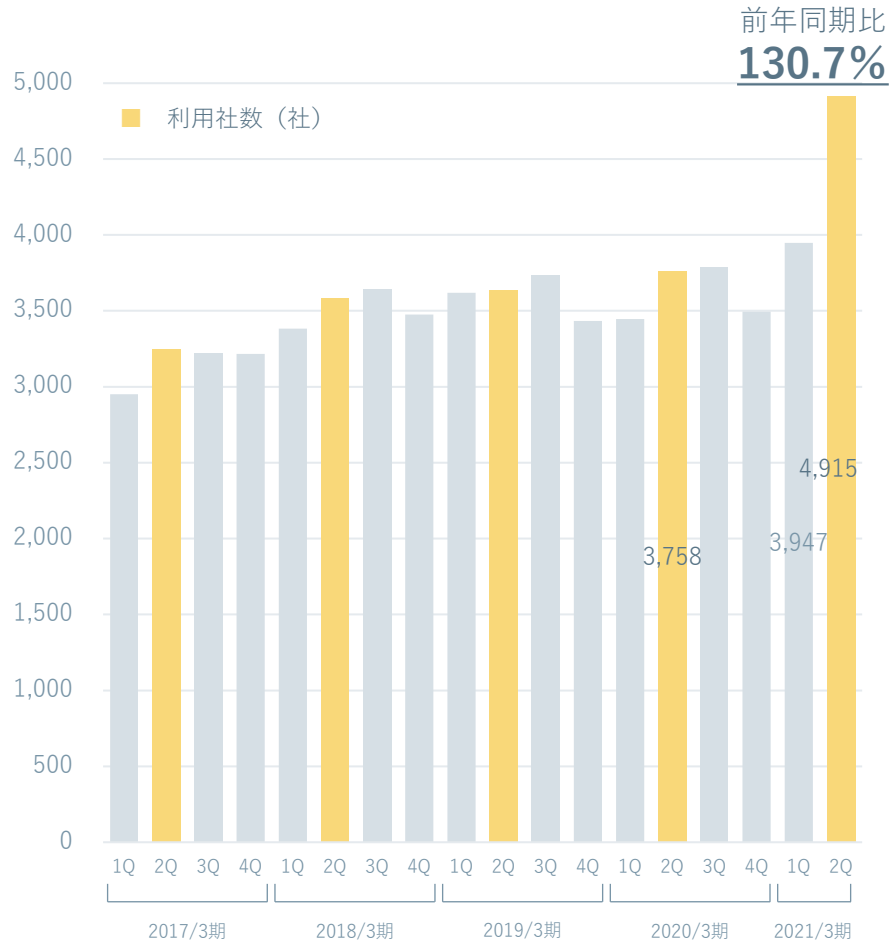
案件数は順調に拡大（コロナ前の推移に回帰）

前四半期対比 (QoQ)

コロナ禍からの回復により案件数は急回復

デジタルPR事業（四半期推移）

リリース配信サービス



前年同期比（YoY）

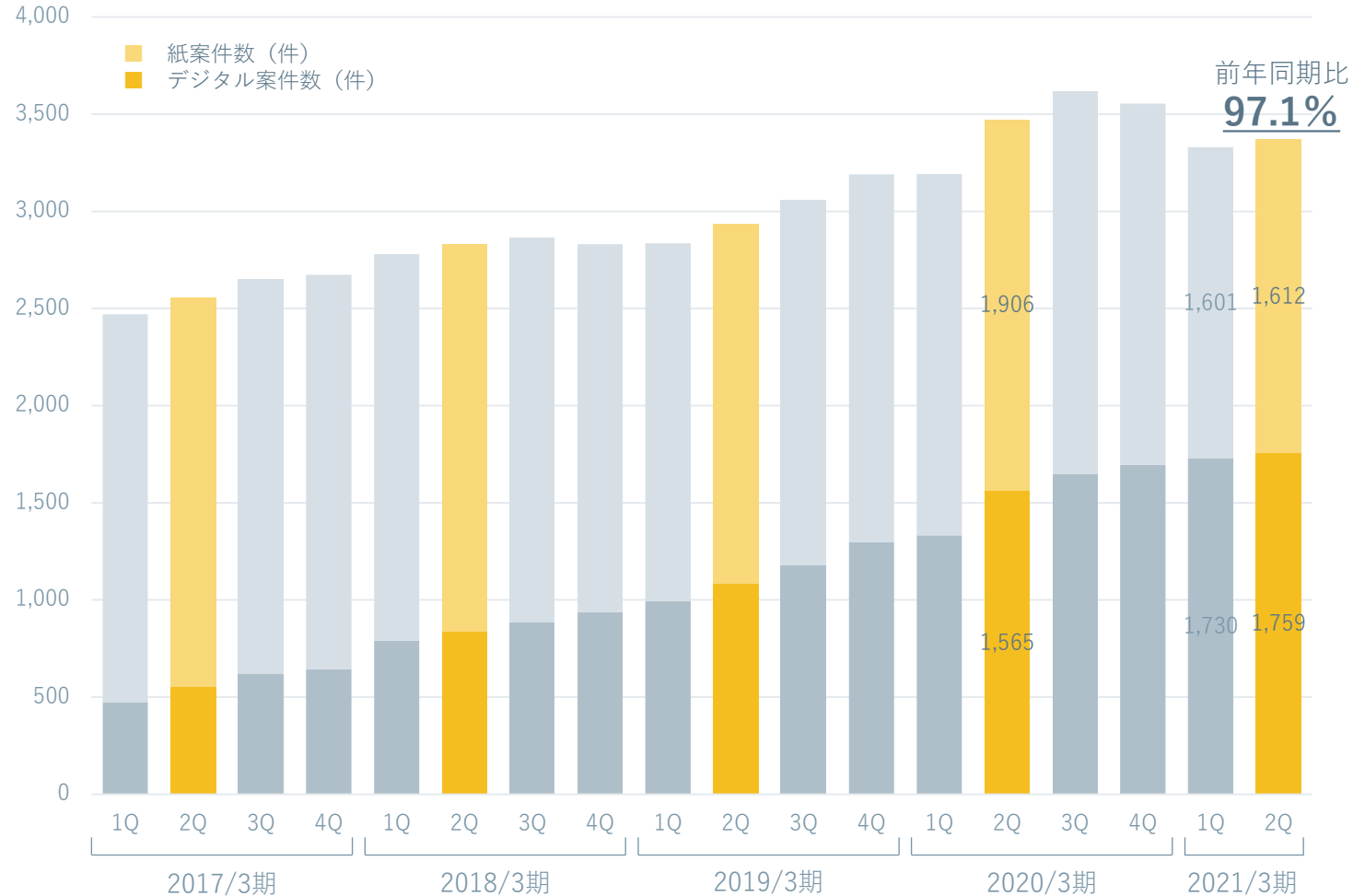
販売人員の先行投資の効果が顕在化

前四半期対比（QoQ）

コロナ禍影響が底を打ち、利用社数・配信数ともに急拡大中

デジタルPR事業（四半期推移）

クリッピングサービス



前年同期比（YoY）

デジタル案件は増加も、イベント等消失により紙案件は減少

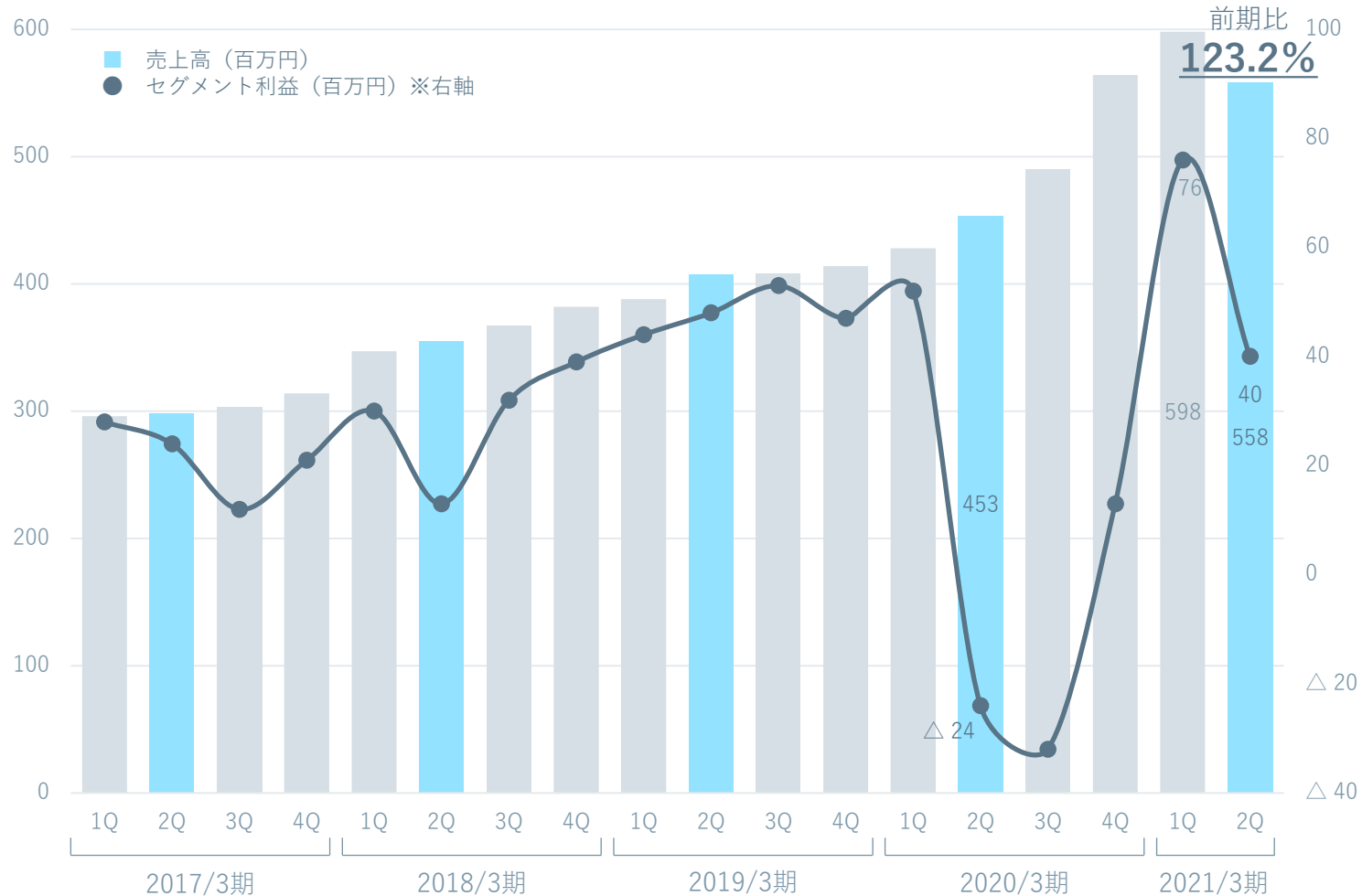
前四半期対比（QoQ）

デジタル案件、紙案件ともにほぼ横ばい

シェアオフィス事業

シェアオフィス事業（四半期推移）

売上高／セグメント利益



前年同期比（YoY）

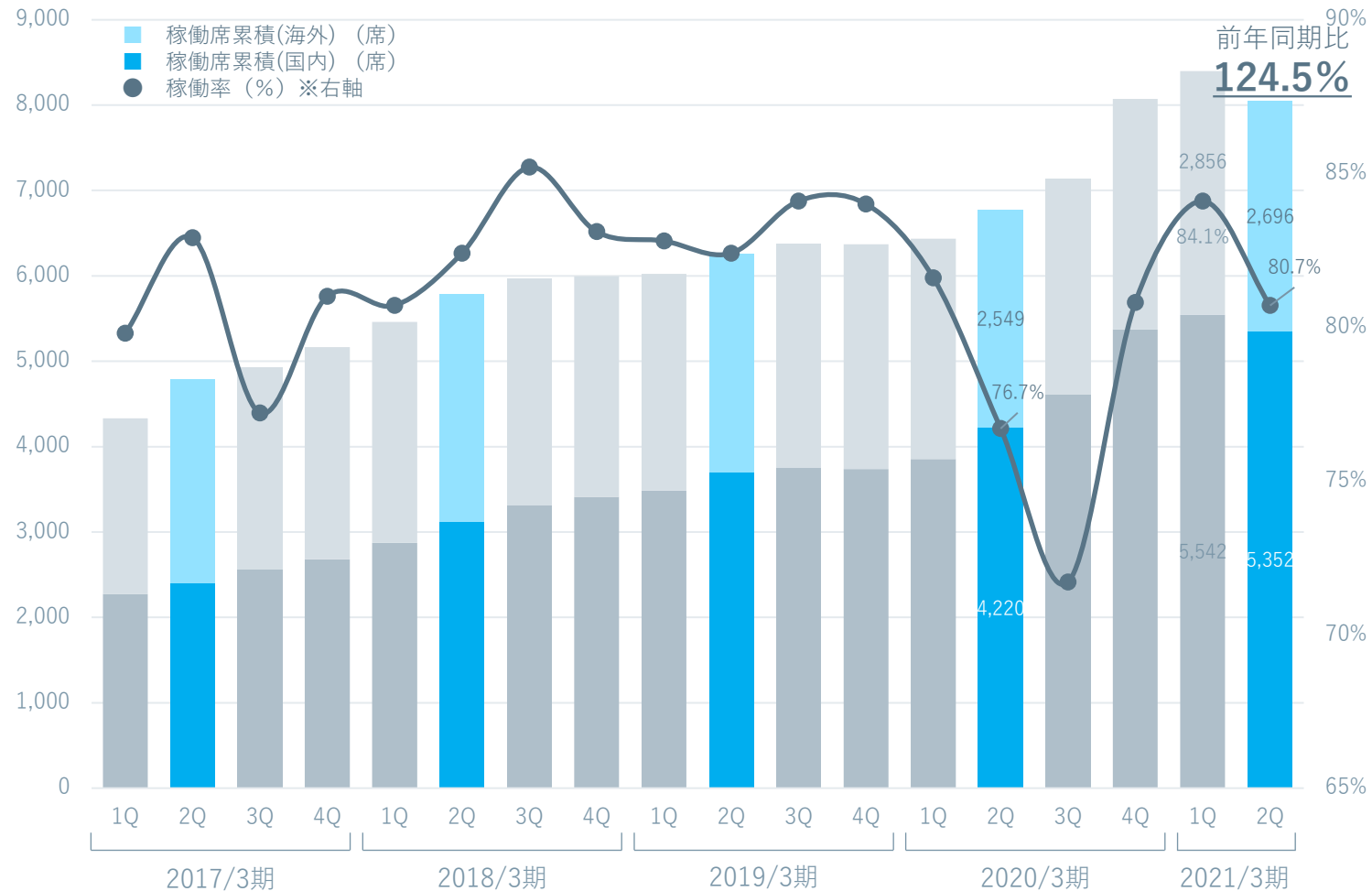
売上高は増加、セグメント利益は黒字転換

前四半期対比（QoQ）

コロナ禍の影響により解約先行、新規顧客獲得で吸収しきれず

シェアオフィス事業（四半期推移）

稼働席数累積／稼働率



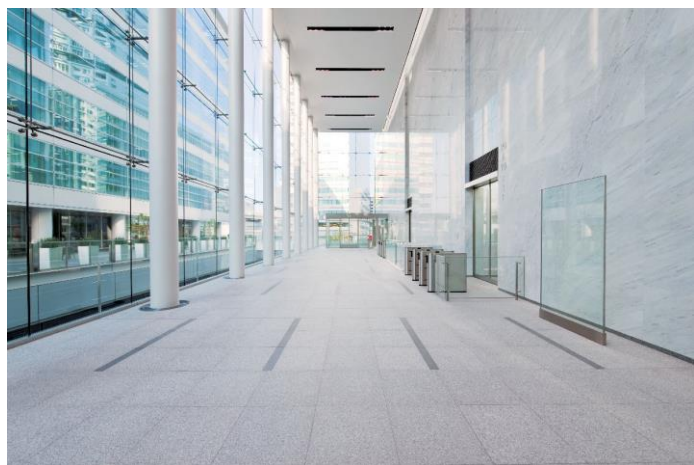
前年同期比 (YoY)

稼働席が堅調に推移し、稼働率は80%水準

前四半期対比 (QoQ)

コロナ禍の影響が遅れて発現、成長は鈍化

レンタルオフィス「CROSSCOOP横浜」2021年1月新規オープン



【外部環境】

- ✓ 新型コロナウイルスの影響を受け
テレワーク・リモートワークが広く認知・導入
- ✓ オフィスのあり方は大きな転機へ

拠点集約型の大規模な固定オフィス



テレワーク・リモートワークや
在宅勤務を組み合わせた
分散型オフィスへとシフト

【当社エリア方針】

東京都市中心部



国内主要都市中心部
（まずは横浜から）

エリア方針を微変更、顧客ターゲットは変更なし

連結財務諸表

2021年 3 月期 連結損益計算書

	2020/3期		2021/3期	
	2Q (百万円)	通期 (百万円)	2Q (百万円)	前年同期比
売上高	1,830	3,924	2,228	121.6%
売上総利益	853	1,749	1,036	121.3%
営業利益 (営業利益率)	146 (8.0%)	201 (5.1%)	71 (3.2%)	48.8% (△4.7ポイント)
経常利益	131	159	73	56.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 ^{*1}	76	72	△8	—
EBITDA ^{*2}	349	689	342	97.9%

*1 CROSSCOOPデリー、CROSSCOOPマニラ撤退より特別損失88百万円計上

*2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 (EBITDAについてはレビューを受けておりません)

2021年 3 月期 連結貸借対照表

	2020/3期末		2021/3期 2Q末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 (%)	主たる変動要因
流動資産	1,467	29.3	1,536	31.4	104.6	・ 差入保証金が増加 ・ 使用権資産（固定資産）が減少 ・ 投資有価証券が減少
固定資産	3,543	70.7	3,344	68.5	94.3	
資産合計	5,010	100.0	4,880	100.0	97.4	
流動負債	1,674	33.4	1,855	38.0	110.7	・ 短期借入実施により流動負債増加 ・ リース債務（流動負債を含む）の返済等により減少 ・ 長期借入金の返済により減少
固定負債	2,017	40.3	1,765	36.1	87.5	
負債合計	3,692	73.7	3,620	74.1	98.0	
株主資本	1,287	25.7	1,247	25.4	96.9	
（自己株式）	(△45)	(△0.9)	(△45)	(△0.9)	—	
非支配株主持分	19	0.4	15	0.3	83.3	
その他	12	0.2	△2	0.0	—	
純資産合計	1,318	26.3	1,260	25.8	95.5	
負債・純資産合計	5,010	100.0	4,880	100.0	97.4	

* 自己株式金額は株主資本金額の内数です。

2021年 3 月期 連結キャッシュ・フロー計算書

	2020/3期	2021/3期	
	2Q (百万円)	2Q (百万円)	主たる変動要因
営業活動によるC/F	330	320	・ 当期純利益等の減少 ・ 特別損失の計上 ・ 減価償却費の増加 ・ 投資有価証券売却益の発生
投資活動によるC/F	△665	△210	・ 投資機会の減少
財務活動によるC/F	493	△74	・ 投資機会減少による借入額減少
現金及び現金同等物 期末残高	1,035	972	

2021年 3 月期 業績予想

2021年 3 月期業績・配当予想

- ✓ 特別利益／特別損失などコロナ禍の影響が顕在化していることもあり、現時点においては今期業績見通しは据え置きとし、より高精度に見積りをした上で、必要に応じ開示いたします
- ✓ 中間配当は当初予想から据え置き、 6 円50銭といたします
(効力発生日：2020年11月13日)

	2020/3期	2021/3期	
	通期 (百万円)	通期予想 (百万円)	前年同期比
売上高	3,924	4,650～5,000	118.4～127.3%
営業利益	201	220～420	109.3～208.7%
経常利益	159	180～380	113.0～238.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	90～230	123.6～315.9%

		2020/3期	2021/3期
1 株当たり 配当金	中間	6 円00銭	<u>6 円50銭 (実績)</u>
	期末	6 円00銭	6 円50銭 (予想)
	年間	12円00銭	13円00銭 (予想) (+ 1円00銭)
配当金総額 (年間)		71百万円	—



BUILDING A BETTER ADVANCE

ビジネスプラットフォームの創造へ

デジタルPRと新しいワークスタイルをご提案

SocialWire
Group